



平成26年12月25日

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所

## 清水港コンテナターミナルの防波堤整備が大詰め ～効率的で使いやすい安全な港へ！

### 1 事業概要

清水港では、新興津コンテナターミナル2号岸壁の荒天時における前面泊地の静穏度を確保するため、防波堤の整備を平成27年度完成目標として国直轄事業で行っています。

去る11月24日から29日に清水港沖合での防波堤整備工事が大詰めを迎え、延長700mの新興津防波堤のうち、本事業分310mの最後のケーソン据付が行われました。この防波堤は「ケーソン」と呼ぶ鉄筋コンクリートの箱形の構造物を海中に並べて造っており、清水港湾事務所所有のケーソン製作場で製作されたものを海中に設置しました。

当日の作業は、ケーソンを台車に載せて斜路から海中に進水し、水面に浮かべた状態で海上を曳航して起重機船で位置を調整しながら注水して、あらかじめ海中に石で造られた土台（マウンド）に並べて据付されました。

### 2. 事業の効果

新興津国際コンテナターミナルに大型船2隻が同時着岸することが可能となり、効率的な荷役を実現することで、産業立地環境の改善を通じて国際競争力強化を図り、静岡県・日本経済の発展に寄与します。

なお、平成25年5月の2号岸壁供用以来、同一ふ頭内でのコンテナ積み替え実績の増加や平成26年の取扱貨物量が昨年比約3%増加するなど既に整備効果が現れています。

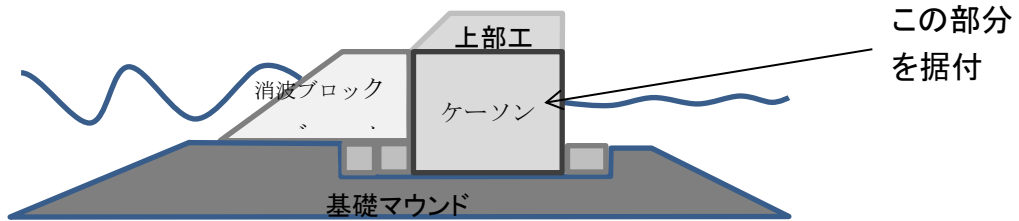
また、岸壁は大規模地震にも耐えうる設計を採用しており、防波堤は津波による浸水を小さくする効果も期待されています。



# 清水港新興津コンテナターミナルの整備状況

参考:(1)新興津国際コンテナターミナル整備事業の概要

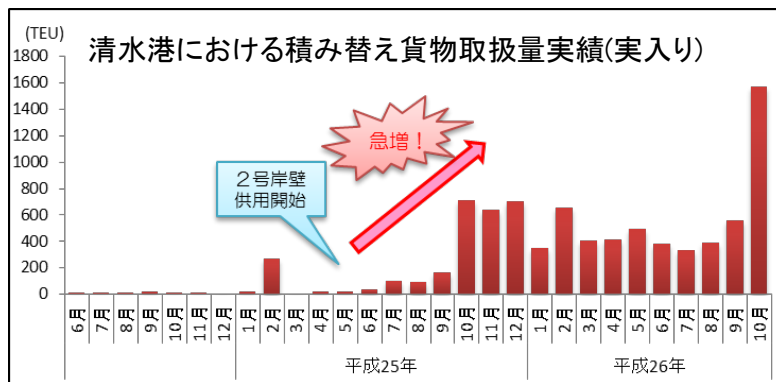
事業	施設	数量	進捗状況
国整備	岸壁(耐震)	水深15m、延長350m	H25.5 供用済み
	泊地	水深15m、面積11.4ha	H25.5 供用済み
	防波堤	延長310m	H27年度完了予定
県整備	コンテナヤード(CY)	面積13.0ha	整備中 (H26.4 3レーン分供用済み)
	臨港道路	延長300m	整備中
	荷役機械(免震)	3基	H25.5 2基供用済み



防波堤断面イメージ図

ケーソンの大きさは、高さ11m×幅14.5m×奥行き15.5mで、重量は約1,600tあります。  
※高さ11mは3階建てのビル相当。

## (2)整備効果の例



※TEU：20フィートコンテナの大きさに換算した容積

4. 配布先： 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、  
港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス

5. 問合せ先： 国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所 企画調整課長 のむら 野村

電話：054-352-4148 FAX：054-353-3072



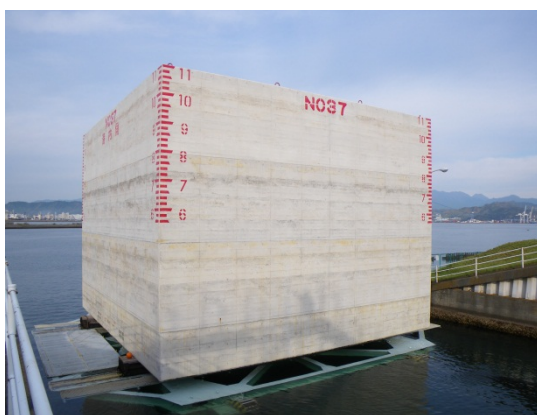


## 【参考】ケーソン据付当日の作業

7:00~ 8:00	ケーソン横引き<①>
8:00~10:00	ケーソン進水<②、③>
10:00~11:00	ケーソン海上曳航<④>
11:00~12:00	ケーソン据付準備 (ワイリング, 1次注水)
12:00~12:30	ケーソン据付 (位置決め) <⑤>
12:30~13:30	ケーソン据付 (2次注水) <⑥>



①ケーソンを横引きして台車に載せます



②台車に乗せたケーソンを海中に降ろします



③ケーソンを海上に浮かせます



④ケーソンを据付場所まで曳航します



⑤ケーソンの据付位置を調整します



⑥ケーソンを据付します